

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.6.23

担当 課名 町民課

グループ名 保険グループ

記入者名

1 事業概要

(1)事業名	後期高齢者医療事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)	①会計区分	一般会計		
②大項目	社会保険	②財源区分	県補助		
③中項目	後期高齢者医療制度の充実	③予算科目	款	3	項
④施策	後期高齢者医療制度の充実	④予算事業名	後期高齢者医療事業費		
⑤施策コード	5.7.2.1	掲載ページ	95	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律	③事業期間	開始	平成20	年
③事業期間	4月から	終了	未定	年	月まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
後期高齢者医療制度及び小川町後期高齢者医療特別会計を一般会計から支える	広域連合市町村負担金(医療給付費分及び共通経費分)、健康診査委託料、人間ドック委託料、保養所利用補助金、特別会計繰出金(保険基盤安定分、事務費分)

(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
後期高齢者医療被保険者	後期高齢者医療制度の円滑運営及び被保険者に対し健康診査、人間ドック、保養所宿泊利用の補助等を行う事で、高齢者の健康保持増進を図る		
対象数	5,578	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など
 保養施設宿泊利用助成の事業拡大(周知・助成額引き上げ)、人間ドック助成人数の拡大、健康診査受診人数の拡大

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称 後期高齢者医療事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳						
報酬	0	0	1,547	0	0	
報償費	0	0	0	0	0	
需用費	14	24	9	113	88	
役務費	259	259	271	599	678	
委託料	8,266	6,890	7,795	14,640	14,169	
その他	462,536	453,695	462,896	477,970	473,195	
直接事業費合計	471,075	460,868	472,518	493,322	488,130	
(3)財源内訳						
国庫支出金	0	0	0	0	0	
県支出金	56,090	58,133	58,451	64,178	71,249	
地方債	0	0	0	0	0	
その他特定財源	6,218	5,900	6,418	12,275	12,115	
一般財源	408,767	396,835	407,649	416,869	404,766	
合計	471,075	460,868	472,518	493,322	488,130	
(4)補助金名	長寿健康増進事業補助金					
(5)人件費						
投入職員数	1	1	1	1	1	
年間人件費	7,716	7,639	7,628	7,542	7,697	
(6)総事業費	478,791	468,507	480,146	500,864	495,827	
サービス量(人)	5,103	5,165	5,293	5,578	5,865	
サービス単価	93.8	90.7	90.7	89.8	84.5	
(単位)	千円/被保険者1人あたり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		後期高齢者医療事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	後期高齢者医療健康診査受診者数	目標値	人	720	1,150	1,150
		実績値	人	600	1,187	
		達成率	%	83.3	103.2	
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	後期高齢者医療健康診査受診率 (総振目標指標p95) R7年度目標値 20.0%	目標値	%	20.0	20.0	23.0
		実績値	%	13.0	23.62	
		達成率	%	65.0	118.1	
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3) その他指標に現れない成果						

5 事業評価					
(1) 項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である
3 その他()					
妥当性	実施主体の 妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である
3 その他()					
妥当性	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している
					2 他に有効な代替手段が見当たらない
3 その他(埼玉県後期高齢者医療広域連合の構成団体として事業を実施している。)					
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している
					2 サービス単価を維持している
3 その他()					
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている
					2 おおむね公平に分配されている
3 その他()					
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている
					2 成果指標は、前年度より向上している
3 その他()					
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した
3 その他()					
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)					
<p>後期高齢者医療健康診査、人間ドックの補助事業を実施することで高齢者の健康保持と健康増進につなげる。令和4年度は令和3年度に比し健康診査の受診率を向上させることができたので、病気の早期発見と治療のため、一体的事業と連携して取り組むことで医療費の抑制につなげたい。</p>					

6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)	(2) 二次評価 (政策推進課長)	(3) 最終評価 (町長)	
評価	1	2		
説明	受診券全員発送による受診率の傾向を探り、引続き健診の受診勧奨に取り組む。	高齢化が進んでいる当町では、高齢者の健康増進は欠かせない。健診受診の重要性を引き続き啓発する必要がある。		